

人生は曲がるほど面白い、90才の証言

木登りだけが得意の田舎娘が28才で京都へ出て老舗旅館柘屋の仲居となり爾来60年、国内外の著名人、川端康成、林芙美子、チャップリン、アラン・ドロン、三島由紀夫に至るまで彼女の接した人間の素顔を書いている。心は通じる、いやと思ったら負け、岐阜県人の女の哲学、学び取りたい一冊です。

書名：おこしやす 著者：田口 八重

おすすめする人：林 幹児

最強の解毒剤あります。

現役書店員なのにも関わらず滅多に本を読まない私が休憩中に何気なく手に取った一冊。読み終わった後は自分が今、いかに余分なモノを背負っているかが分かります。大人になって知らないうちに蓄積された毒を抜いてくれる解毒剤です。

書名：自由であり続けるために20代で捨てるべき50のこと 著者：四角 大輔

おすすめする人：田上 佐和子

あなたのおなやみ、数学の力で解決します

数学が嫌い、数学が苦手、数学なんてせいかつの役に立たない。なんて考えている人はいませんか。そんな人のお悩み、数学屋が解決します。変わり者の天才数学者と数学が苦手な体育会系女子が営む悩み相談所「数学屋」。そこに持ち込まれる難問。さあどう解決するか。数学ざらにも夢中にさせる、感動の青春数学小説。

書名：お任せ！数学屋さん 著者：向井 湘吾

おすすめする人：和田 幸奈

昆虫への価値観が変わる！

この本の主人公マリアとは、オオスズメバチのことです。マリアは1ヶ月という限られた時間しか生きることができません。その限られた命の中で、自分に与えられた使命を果たそうと命をかけてはたります。毎日小さいからだで空をとびまわり、そして戦い、常に死と隣あわせです。仲間とのチームワークも見られる、感動作品です。

書名：風の中のマリア 著者：百田 尚樹

おすすめする人：横山 しおり

「捨てのK点超え」見てみませんか？

汚屋敷と呼ばれるゴミだらけのおうち出身の著者が、どうやってきれい好き＆物を持たない生活へと変わっていったのか……。人に歴史あり、家に「捨て」あり！果たして人はどこまで捨ての境界線を超えていくことができるのか。捨てのK点超えである「ガラーン」を実感出来る本書を、ぜひともその目で確かめて下さい。

書名：わたしのウチには、なんにもない。「物を捨てたい病」を発症し、今現在に至ります 著者：ゆるり まい
おすすめする人：木村 結花

おいしくて、やさしくて、何より、うれしい

「おもたせ」を知ったのは、この本でした。取り澄ました手土産ではなく、誰かと分かち合うおもたせ。素敵ではないですか。瑞々しい感性で描かれたおもたせの数々を読んでいるだけで、おいしさを分かち合う幸福感が味わえます。ぜひ、お土産選びの手掛かりとしてだけではなく、お茶と一緒にじっくりと頂きたいエッセイです。

書名：おもたせ暦 著者：平松 洋子
おすすめする人：内川 澄恵

試着室、そこは秘密でいっぱいだった

専業主婦だった37歳の主人公は、ある日突然、アパレル店員に。そこで見た試着室はお客様たちと最も近くなる場所、そしてたくさんの秘密がある場所。お客様のコンプレックスや悩みに向き合っていくうちに本当の自分について考える主人公。そんな主人公の姿を見て元気が出る本です。

書名：試着室の秘密 著者：清水 由美子
おすすめする人：篠田 理佳

生きぬく策略、植物だって

著者は植物の気持ちを透視できる人である。これほどに相手の気持ちが見えすぎると、その刺激に堪えかねて、神経がよれよれになると心配になる。ところが、えぐいタケノコの話、ウルシ科マンゴーの種の話など、ユーモア溢れる表現に思わず笑ってしまう。つまり著者は読者の気持ちも透視できる力が備わっているのだ。

書名：植物はすごい 著者：田中 修
おすすめする人：阪野 甲子